

## GOOD NATURE HOTEL KYOTOが 「LA LISTE（ラ・リスト）」の『環境・循環型社会賞』を受賞

株式会社ビオスタイルが運営する、GOOD NATURE HOTEL KYOTO（京都市下京区、総支配人：北田萌子）は、「LA LISTE」（ラ・リスト）が発表した2026年特別賞「環境・循環型社会賞（Prix de la Responsabilité Ethique et Environnementale）」を受賞いたしました。



「LA LISTE」は、元駐日フランス大使で永世フランス大使であるフィリップ・フォール氏により2015年に創設され、毎年世界のトップ 1000のレストランおよびホテルがランギングされるほか、各国毎に「特別賞」が授与されます。日本における2026年特別賞は10賞設定され、GOOD NATURE HOTEL KYOTOは、ホテルとして世界初となる WELL認証とLEED認証の環境認証取得など、環境課題への積極的な取り組みを評価され、特別賞「環境・循環型社会賞」受賞にいたりました。これからもサステナブル・ツーリズムを推進し、循環型社会の構築に貢献するホテルを目指してまいります。

## ■GOOD NATURE HOTEL KYOTOの環境・循環型社会に向けた取り組みについて(一例)

GOOD NATURE HOTEL KYOTOでは、建物・設備、サービス、イベントなど、様々な側面から環境課題と向き合っています。また、デザインや使い心地を通して、私たちが推進する取り組みについて、宿泊されるお客様にもご共感いただけるよう「人にも、自然にも、いいものを。」をコンセプトに掲げています。



- ・世界で初めて、ホテル版評価基準によるWELL認証及びLEED認証を同時取得
- ・再エネ100%の電力を使用
- ・中庭の壁面緑化
- ・朝食は館内コンポストの堆肥を利用して作ったお米を提供
- ・客室ではフェアトレードに取り組む自社ブランド「RAU」の焼き菓子を提供
- ・タオルはオーガニックコットンタオルを使用
- ・茶器はホテルスタッフが金継ぎをして使用
- ・環境に配慮した自社コスメブランド「NEMOHAMO」のアメニティを提供
- ・プラスチック製の使い捨てアメニティを廃止
- ・タンブラーと給水機設置による脱ペットボトルを推進

## ■「LA LISTE(ラ・リスト)について

LA LISTEは、200カ国の4万以上のレストラン、パティスリー、ブーランジェリー、ホテルを案内するモバイルアプリで、世界中のどこにいても、近隣はもちろん、指定の場所で最良の店を検索することができます。LA LISTEは、独自の公平なアルゴリズムランキングシステムを採用し、毎年世界のトップ1,000のレストランとホテルをランクインしています。さらに、毎年恒例の「特別賞」では、レストラン、ホテル、ペストリーショップなど、各カテゴリーの多面的な多様性と豊かさが際立っています。

GOOD NATURE STATIONでは、2階チャイニーズガストロノミー「VELROSIER（ベルロオジエ）」がTOP1000にノミネートされたほか、3階パティスリー「RAU Patisserie & Chocolate」が「Pastry Discovery GEM Award」を受賞を経て、注目店舗に選出されています。



## ■会社概要

### SDGsを実現するライフスタイルを提案する 京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGsの達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「ビオスタイル」として展開し、お客様にご提案しています。規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできうる様々な活動を推進していきます。

► 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくは[こちら](#)



### 株式会社ビオスタイルについて

株式会社ビオスタイルは、京都・四条河原町に2019年12月に開業した複合型商業施設「GOOD NATURE STATION」の運営会社。京阪ホールディングス株式会社のグループ会社として、京阪グループが推進する“SDGsを実現するライフスタイル”を企画・提案する「BIOSTYLE PROJECT」を牽引し、“信じられるものだけを、美味しく、楽しく。人も地球も元気にする「GOOD NATURE」”というコンセプトの下、サステナブルな商品開発、施設運営を行っています。これらの企業活動を通じ、SDGs達成に貢献するとともに、社会と調和した持続的な成長を目指します。